

全鉄連流通動態調査結果表 2022年2月分

(2022. 3. 24)

全国鉄鋼販売業連合会

品 種	地 区	前月在庫量		仕入量		販売量		当月在庫量		
		1月実績	前月比	2月実績	前月比	2月実績	前月比	2月実績	前月比	
異形棒鋼	東京	5,907	105.1%	34,832	110.6%	34,625	111.0%	6,114	103.5%	
	大阪	2,130	102.5%	15,575	107.9%	15,397	107.0%	2,308	108.4%	
	愛知	4,453	106.9%	2,917	79.4%	3,053	90.2%	4,317	96.9%	
	計	12,490	105.3%	53,324	107.5%	53,075	108.4%	12,739	102.0%	
鋼	山形鋼	東京	17,019	95.8%	7,711	114.9%	7,541	101.2%	17,189	101.0%
		大阪	23,882	102.9%	7,611	98.5%	7,795	110.4%	23,698	99.2%
		愛知	9,512	103.4%	3,868	97.7%	3,968	108.9%	9,412	98.9%
		計	50,413	100.5%	19,190	104.3%	19,304	106.3%	50,299	99.8%
	溝形鋼	東京	15,654	101.2%	5,773	103.7%	5,272	98.1%	16,155	103.2%
		大阪	15,371	106.5%	5,124	88.6%	5,222	107.8%	15,273	99.4%
		愛知	6,886	106.7%	3,339	94.9%	3,346	108.5%	6,879	99.9%
		計	37,911	104.3%	14,236	95.7%	13,840	104.0%	38,307	101.0%
	H形鋼	東京	36,050	107.0%	17,693	102.8%	14,950	100.7%	38,793	107.6%
		大阪	51,998	108.4%	22,865	92.1%	21,829	105.0%	53,034	102.0%
		愛知	19,744	115.6%	10,209	107.1%	7,657	111.5%	22,296	112.9%
		計	107,792	109.2%	50,767	98.5%	44,436	104.5%	114,123	105.9%
合 計		196,116	105.9%	84,193	99.3%	77,580	104.9%	202,729	103.4%	
コ ラ ム	東京	8,376	109.8%	2,502	107.6%	2,196	139.1%	8,682	103.7%	
	大阪	13,830	107.2%	4,975	125.3%	4,551	149.4%	14,254	103.1%	
	愛知	1,802	104.9%	897	121.5%	723	110.6%	1,976	109.7%	
	計	24,008	107.9%	8,374	119.0%	7,470	141.5%	24,912	103.8%	
軽量C形鋼	東京	3,674	102.5%	1,302	82.7%	1,343	90.5%	3,633	98.9%	
	大阪	3,307	106.0%	1,754	115.7%	1,543	116.1%	3,518	106.4%	
	愛知	3,177	105.7%	1,050	95.9%	874	94.7%	3,353	105.5%	
	計	10,158	104.6%	4,106	98.1%	3,760	100.6%	10,504	103.4%	
総 計		242,772	106.0%	149,997	103.0%	141,885	107.5%	250,884	103.3%	

(注) ①単位トン ②調査対象企業 **東京30 大阪18 愛知12 合計60社**

※この資料は経済産業省、鉄流懇関係者、報道機関のみ配布しています。

[調査内容変更について]

昭和48年4月より開始された本調査は、平成12年4月実績発表まで27年間同一フォーム内容で実施され、鋼材二次流通の実態を表す資料とされていた。しかし、この間に調査品目の中には流通性がなくなった品種、また、未調査品種ながら、市場性が高い品種など鋼材市場においてさまざまな品種の盛衰があった。そこで全鉄連常任理事会において、本調査の見直しが提議された。そして、平成12年5月分実績より従来の流通動態調査を改訂し、上記のとおり発表することとなった。

その変更内容は①調査対象品種にコラムを追加②調査対象品種よりプレーン、不等辺山形鋼、I形鋼、デッキ・キーストンを除外する③契約残調査を取り止める、以上3点である。また、本調査を「特約店流通動態調査」と称していたが、これを「全鉄連流通動態調査」と呼称変更した。これは調査機関である当会が全国鉄鋼販売業連合会に名称変更したことによる。また、平成13年5月実績をもって調査対象品種変更後1年が経過した。この間、暫定的な数量をもって時系列表及びグラフを作成していたが、それを改め月表の数値と一致するように改訂した。